

RELATION

地域事業活動 × RELATION Style で未来を創造する。

RELATIONのビジョンは、「競争から共創へ」
ミッションは、「未来を共に創る人を、地域と共に育む」

個々の持つ可能性と地域リソースをマッチングさせ、
既存の価値にRELATIONの発想を加えることで、
次の時代に受け継ぐ新しい価値や仕組み・サービスを創造します。

RELATIONの4つの事業

- 地域で人の可能性を活かす
「地域人材育成事業」
- 地域と人の関係性をデザインし、新しい動きを作る
「地域マネジメント事業」
- 地域と人をつなぎ、新たな学び・発見・気づきをもたらす
「地域観光事業」
- 地域と人の、今ある魅力を発信する

KATALOG

地域人材育成事業

地域マネジメント事業

地域観光事業

KATALOG

What's RELATION ?

『神山プロジェクト』 ～未来の働き方を実験する～

日本経済新聞・読書 [2014.04.06]

神山プロジェクト 篠原 匡著



徳島県神山町は移住者が増えて話題を集めている過疎の町である。都会を上回るIT（情報技術）環境などにひかれてサテライトオフィスを構える企業が相次ぎ、「中山間地再生のモデル」として全国から視察者が絶えない。内外の芸術家を招いて暮らしながら芸術作品を創作してもらった活動や職業訓練事業を展開する神山塾の運営、古民家の移住者への提供など、様々な取り組みが神山町を変えた。一連の事業を任せてきたのは地元住民で立ち上げたグリーンバレーというNPOである。


過疎の町再生、移住者の思いも

本書はそのグリーンバレーの活動だけでなく、神山にひかれて移り住んできた人々の思いや、この地にならざるを得ない半生も紹介している。石窯に薪をくべて焼くパン屋、落ち着いた待合室が魅力の歯医者、フランス家庭料理を提供するカフェ、シェフなど移住者も多彩だ。

町は地域を活性化するため移住者を受け入れるわけだが、移住者からみれば新しい働き方や生き方を探る場が神山という地域なのだろう。地元で洋品店を構えるグリーンバレーの中心メンバー1人が「ある意思をもった人間が5人もいれば町は変わる」と断言する。過疎の町や村の再生に携わる人々を勇気づける言葉に違いない。 [日経BP社・1500円]

未来の働き方を実験する


神山プロジェクト 篠原 匡



徳島県神山町。

NHK「クローズアップ現代」元祖番組「ガイアの夜明け」でも放映!

山深いこの町に、若きクリエイターや起業家が集う。なぜ徳島の片田舎に若者たちが集い寄せられるのか。新しい働き方、クリエイティブを生む場づくり、地域再生の方法は、不確実を恐れない生き方——。現代の日本人が抱える課題の答えがここにある。



「21世紀の最先端は、東京でも上海でもシンガポールでもなく、神山にこそある」
 藻谷浩介氏(『里山資本主義』著者)

神山プロジェクトとRELATIONの関わり

国際交流&アート

1999年 神山アーティストインレジデンス
 「とくしま国際文化村」を作るという徳島県のプロジェクトを知り、住民自らがプランを考えようと国際文化村委員会を設置し、県に実施を提案。住民がお接待精神を発揮して制作活動をサポート。
※ 2008年5月 神山プロジェクト参戦



サテライトオフィス

2010年 サテライトオフィス第1号 株式会社Sansan
 寺田親弘社長がロコミで神山のことを知り、自ら神山を訪れ、サテライトオフィスを設置することを即決。翌月には3名の社員が神山で働き始める。
※ 2010年12月 神山塾スタート



文化交流拠点の増加 (ヒトノミクス)

2014年 フレンチビストロ「Café on y va」オープン
 神山から在宅でAppleの社員をしていた女性が、自己資産で古民家をビストロに改築し、フレンチビストロ「Café on y va (カフェ オニヴァ)」をオープン。神山で活動するクリエイターや地域の方々が集い、交流の場となっている。



神山のまちづくり(発展)は「民間主導」。かかわる人のやりたい気持ちから始まった。

不動産マネジメント



神山町寄居
 (株) えんがわ えんがわオフィス



神山町寄居
 Café on y va (カフェ オニヴァ)

古民家利活用／SO誘致サポート



神山町神領
 SANSAN (株) サテライトオフィス



神山町上角
 (株) ソノリテ サテライトオフィス

株式会社プラットイーズ（東京都渋谷区）



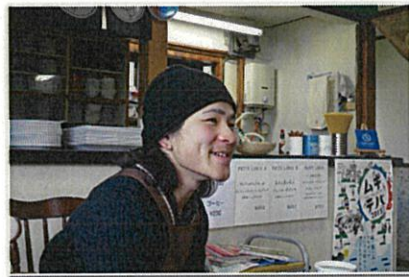
若者にとって魅力的な職場誕生（町内6名・県内12名）

地域人材育成・起業家育成プログラム

神山塾



染物屋「染昌」
瀧本 昌平さん 神山塾1期生



イタリアンカフェ「Cafe Eleven」
神崎 岳史さん 神山塾3期生



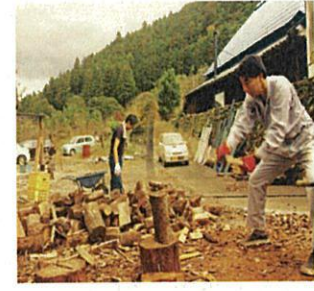
総菜店「535（ゴミサンク）」
五味 綾子さん 神山塾6期生



シューメーカー「LIHCT LICHT KAMIYAMA」
金澤 光記さん 神山塾6期生

【グループワーク（WS／座学）】

【フィールドワーク（地域体験）】



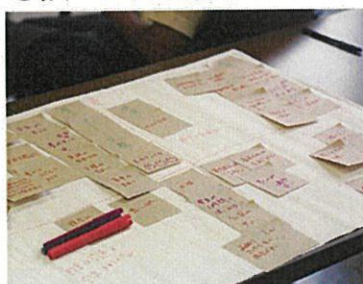
神山塾

地方創生の先進事例地として注目される徳島県神山町を舞台に、RELATIONが運営を行う地域人材育成事業。塾の期間を「ニュートラル」として捉え、地域コーディネーターとしてのスキル習得だけでなく「あり方」を学ぶカリキュラム内容が注目を集めている。また、神山町の発展要因である「ヒトノミクス」の一端を担っており、20代から30代の若者を中心に全国各地から受講生が集まる。人材育成事業の中でも、高い地域人材定着率を実現しており、地域での起業者が多いのも特徴の1つである。

【神山塾 実績】

実績数	受講者数	人材定着率 (徳島県移住者)	就職率
第11期実施 (2010年12月～現在)	137名 (10期終了時)	42% (57名)	80% (起業率20%)

地域イベント企画実習



体験型神山プロジェクト



ゲストスピーカー講話



「うらほろスタイル推進事業」 × RELATION

北海道十勝浦幌町



内閣府・地方創生関連資料での「うらほろスタイル」の紹介

子供たちが夢と希望を抱けるまちづくり（北海道浦幌町）

- ▶ 人口 H25: 5,337人 (H20: 5,858人)
- ▶ 学校 幼稚園: 2園 (34人)、小学校: 3校 (242人)、中学校: 2校 (130人) (H23現在)
- ▶ 児童生徒等数 H23: 406人 (S55: 1,487人)



課題

- 人口減少により児童生徒数も約30年間で1/4強まで減少。雇用不足等の理由から社会的流出も。

取組

○平成19年より、子供たちが夢と希望を抱けるまちを目指して、町役場、町教委、農協、商工会、森林組合、漁協等で構成した「うらほろスタイル推進地域協議会」を設置しスタート。

- ・ **地域への愛着を育む事業**：地域の魅力発見等の体験活動を実施、まちを活性化させる企画を提案。（学校向けカリキュラムを作成し、町内バスツアー、講演、討論、生産者訪問、販売体験等を実施）
- ・ **子供の想い実現事業**：中学生が提案した企画を地域の大人が実現（新特産物開発、町のキャラクターづくり、地域の祭りを活性化する提案など）
- ・ **農村つながり体験事業**：町内の小学生を対象とした農林漁家で生活体験を行う取組等を実施。

➡ **地域が好きな児童生徒や将来地域で働きたい、暮らしたいと思う子供が増加。子供たちが自ら町の魅力を紹介すること等を通じ、地域への自信・誇りの向上に発展。定住するための雇用の場を生むため「若者のしごとと創造事業」を創設し、起業・創業の動きに発展。**

【浦幌を好きな児童生徒】 H21: 31.7% → H25: 52.1%
 （どちらかといえば好きだを加えると H21: 75.9% → H25: 83%）
 【将来、浦幌に住みたい児童生徒】 H21: 22.1% → H25: 38.3%



ふるさとの魅力を体験



中学生提案「みのり祭り改善プラン」



「中央教育審議会」資料での「うらほろスタイル」の紹介

うらほろスタイル推進事業 ～コミュニティ・スクールと連動して取り組む「まち・ひと・しごとづくり」～

- ・平成19年度から「うらほろふるさとづくり計画」がスタート。小中学生を対象にした「うらほろスタイル教育プロジェクト」の取組の成果として、子供たちが浦幌の魅力に触れ、**地域への愛着や誇りが芽生え、地域貢献への思い等ふるさとへの意識が育まれてきている。**また、地域内への進学を希望する子供が増加。
- ・一方、若者が進んで定住を考慮することができる「**しごと場**」が不足しており、平成26年度から**若者の雇用創造事業プラン**として「**まちなか農園プロジェクト×商品開発プロジェクト**」を始動。

→ **子どもたちの夢が詰まったまちへの提案や企画を大人たちの手で実現**

コミュニティ・スクールと連動

地域への愛着を育む事業

学校の授業で地域の魅力発見等の体験活動を実施、まちを活性化させる企画等を町長に提案。

農村つながり体験事業

町内の小学生を対象とした農林漁家での生活体験を学校行事で実施、事後交流を展開。

子どもの想い実現事業

学校の授業から生まれた「まちを活性化させる企画」を町民がカタチにする活動。

若者の仕事創造事業

若者の定住を目指し、地域の課題解決につながる仕事や環境を生み出す事業。

「まちなか農園プロジェクト×商品開発プロジェクト」



札幌や函館で浦幌の魅力を発信



農村つながり体験



ハマナスの植栽

「まちなか農園」を平成27年に開設し、地域色のある作物を育て、それを使った商品開発に取り組んでいます。

成果

- ・小中学校間や学校・家庭・地域間の垣根が低くなり、**触れ合いが深まり、協働体制が生まれている。**
- ・学校に対する理解が深まり、**学校や地域の人たちが元気になる。**
- ・地域が好きな児童生徒や将来地域で働きたい、**暮らしたいと思う子供が増加している。**
- ・子供たちが浦幌の魅力に触れ、**地域への愛着や誇りが芽生え、ふるさとへの意識が育まれてきている。**
- ・子供を軸としたまちづくりが、子育て世代への安心感を育み、**出生率の増加傾向にある。**

若者のしごとと創造事業

2013年 若者のしごとと創造事業検討会議(地元経営者+役場)

浦幌町で働く場所の確保を目指して
将来の若者たちが起業創業するための
中核拠点を作ろう！



うらほろ起業創業ラボ構築事業発足

若者のしごとと創造事業

うらほろスタイル運営委員

うらほろ起業創業ラボの構想はできたものの誰がするの・・・？



人材育成事業で地域外の若者を地域で受け入れ
地域で起業・就職する若者を輩出してきた神山町・神山塾・リレイション

これまで、100名以上の若者を半年という期間、
地域で学ぶ場を作ってきたノウハウを持っていたからこそ
浦幌町でできることがあった